

平成 18 年度外部評価（中間）

【評価基準】 { A ... 自己評価は適当である B ... 自己評価は適当でない
 { C ... 外部評価は可能であるが資料不足 D ... 外部評価は不可能である }

短期経営目標	成果指標	児童 アンケート	保護者 アンケート	教職員 アンケート	自己 評価	外部評価部会記入欄			
						評価	自由記述		
学 力 の 向 上	学ぶ意欲を引き出すための指導法工夫改善に努める。	4 勉強がよくできるようになったと感じる児童 80%以上	96%		87%	4	A	理解を促す教材・教具を使う授業の増加が裏づけとなっていると思われる	
		3 70%以上							
		2 60%以上							
		1 60%未満							
	国語力の向上を図る。	4 話す力がついたと感じる児童 80%以上	話す 90%	話す 76%	話す 75%	4	B	児童は自信を持つようになってきているが、常に向上を願う教師・保護者は不十分と感じている。実践を重ねることで評価値は縮まると思われる	
		3 70%以上							
		2 60%以上							
		1 60%未満							
		4 聞く力がついたと感じる児童 80%以上	聞く 92%	聞く 75%	聞く 80%	4	B	上に同じ	
		3 70%以上							
		2 60%以上							
		1 60%未満							
読み・書き・計算などの基礎学力の確実な定着に努める。	4 計算や漢字が得意になったと感じる児童 80%以上	計算 77%	基礎学力 92%		3	A	不得意教科を克服する頑張りや、克服させる支援が課題になる。「基礎・基本」の定着は最重要。不得意な児童が多いのは心配である		
	3 70%以上								
	2 60%以上								
	1 60%未満								
豊 か な 人 間 性 の 育 成	子ども同士、子どもと教職員の人間関係づくりに努める。	4 先生や友だちが認め励ましてくれると感じる児童 80%以上	90%			4	A	20パーセントの児童が「あまりはげまされていない」と感じている学年の実態が気になり	
		3 70%以上							
		2 60%以上							
		1 60%未満							
	あいさつ・清掃・履き物揃え・あとかたづけ・言葉遣い・緑化など心の和む環境づくりに努める。	4 交流できて楽しかったと感じる児童 80%以上	95%			4	A	年中行事にならないように留意することが大切。創意工夫と他校に学ぶ姿勢も欠かせない	
		3 70%以上							
		2 60%以上							
		1 60%未満							
		誰にでも自分から挨拶ができるようになったと感じる児童 80%以上	4 誰にでも自分から挨拶ができるようになったと感じる児童 80%以上	来客 89%			4	A	「あいさつ」は環境に左右されやすく、家庭や地域の責任が大きいので、継続した啓発が大切。設問(文言)の工夫が必要では？知っている人に 近所の人に
			3 70%以上						
			2 60%以上						
			1 60%未満						
時間いっぱいそうじをやりきる児童 80%以上	4 時間いっぱいそうじをやりきる児童 80%以上	92%			4	A	「一生懸命」という表現(問い方)は、学年によって捉え方に大きな開きがあるのではないかと工夫したほうがよいと思われる		
	3 70%以上								
	2 60%以上								
	1 60%未満								
言葉遣いに気を配るようになったと感じる児童 80%以上	4 言葉遣いに気を配るようになったと感じる児童 80%以上	90%			4	C	問い方が漠然としているので、具体的な問にしてはどうだろうか。ていねいな言葉を・・・とか、乱暴な言葉を・・・など。また対先生対友達に分けて聴く方法も考えられる		
	3 70%以上								
	2 60%以上								
	1 60%未満								
読書に親しむ子どもを育てる。	4 本をよく読むようになったと感じる児童 80%以上	86%			4	A	「本」の意味。児童によって解釈が違うのではないだろうか。本=物語、事典類、まんがなど様々(「本」の意味が共通の認識になっていけば別ですが・・・)		
	3 70%以上								
	2 60%以上								
	1 60%未満								
社会や自然とのかかわりを強め、体験を通しての学習を重視する。	4 自然や社会とのつながりが増したと感じる児童 80%以上				93%				
	3 70%以上								
	2 60%以上								
	1 60%未満								
町 ぐ る み よ る 教 育 の 推 進	定期的な情報提供を行う。	4 学校教育活動への理解度 80%以上				4	A		
		3 70%以上							
		2 60%以上							
		1 60%未満							
	学校(学習・安全)支援ボランティアの積極的活用を行う。	4 学区の人々・保護者とのつながりが増したと感じる児童 80%以上				77%			
		3 70%以上							
		2 60%以上							
		1 60%未満							
	外部評価を含め学校評価を、学校教育活動へ生かす。	4 学校教育活動への肯定的評価 80%以上		生き 95%			4	A	「願い」がどんな願いなのかを具体的に、学校全体の共通認識にすることが大切
		3 70%以上							
		2 60%以上							
		1 60%未満							
健 康 体 力 づ く り	外遊びを奨励する。	4 外遊びが日常化したと感じる児童 80%以上	78%	体力 92%	体力向上 93%	3	B	2と1については、理由がわかる[問]にしたい。大休憩、昼休憩に外に出るようにしていますか *遊び時間の保障が前提になる	
		3 70%以上							
		2 60%以上							
		1 60%未満							
	学年目標回数達成率および満足度 80%以上	4 学年目標回数達成率および満足度 80%以上							
		3 70%以上							
		2 60%以上							
		1 60%未満							
	家庭と連携し、基本的な生活習慣の確立を図る。	4 生活リズムが身に付いてきたと感じる児童 80%以上	83%	家庭学 77%	朝食 89%	睡眠 80%	4	A	高学年の傾向は、P8の分析どおりと思われる
		3 70%以上							
		2 60%以上							
		1 60%未満							
泳力の向上を図る。	4 泳力2.5m以上の児童 80%以上	86%				4	A		
	3 70%以上								
	2 60%以上								
	1 60%未満								